

## 現在の取り組み

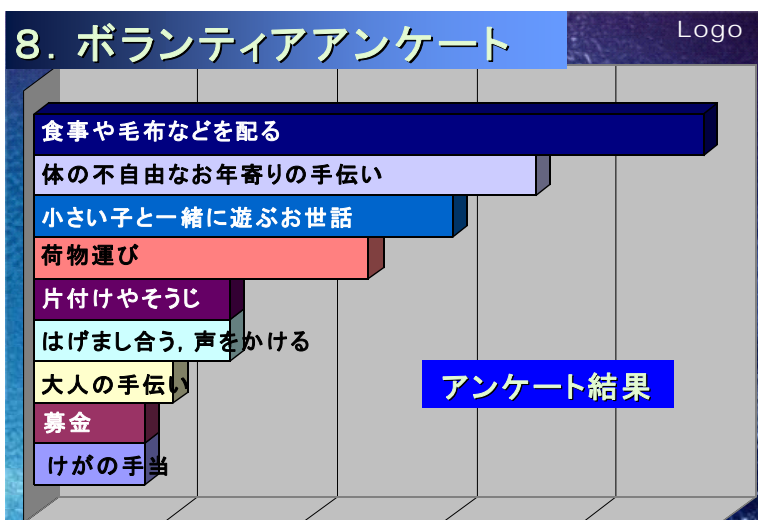
### 1. 防災すごろく作り



予定である。この防災すごろくが、各家庭における防災意識を高めることにつながることを願っている。

防災学習で取り組んだことを、他の児童や保護者に広めていこうという子どもたちの意見をもとに、みんなでアイデアを出し合い、防災すごろくをつくった。通学路、校舎の危険箇所や、学習したことをクイズ形式にして、遊びながら防災について学ぶことができるように考えた。5年生児童が中心となり、今、制作途中。3月上旬には、各家庭に配布する

## 2. ボランティアアンケート



4, 5, 6年生を対象に大地震が起きたとき、避難してきた人々に対して自分は何ができるのかというボランティアアンケートを行った結果である。

「食料の配達」や、「小さな子の世話」、「お年寄りの手伝い」などの回答が上位を占めた。鳴門市防災安全課の方に鳴門市の取り組みについて話を伺ったときにも、

災害時には、児童による食料の配達などのボランティア活動が人々に喜ばれるという話であった。本年度は、我が身を守ることに重点を置いての活動となったが、今後は高学年を対象に災害時のボランティア活動についての取り組みを行っていきたいと考えている。

## 3. 地域との連携

災害時、地域住民による助け合いが、重要な役割を果たすことから、学校だけの取り組みだけでなく、日ごろから地域の中での関係を深めていかなければならないと思う。これまでも、地域の斎田消防分団には、6年生のキャンプファイヤーの消火活動や、運動会の種目「出動競走」に協力していただき、連携を深めている。今年度、自治振興会、斎田消防分団、社会福祉協議会による自主防災組織をつくる方向に検討され、これら地域の関係団体と小学校とで斎田地区自主防災組織発足について考える会議を行った。地域の中の小学校として、どのような役割を求められているのか話し合った。今後も地域の方々との連携を密に取り、災害時の迅速な活動が行われるようにしていきたい。

## 終わりに

撫養小学校では、本年度「防災教育推進モデル校指定」を受け、これまでの取り組みの見直しを図り、児童が防災教育に真剣に取り組むための方策を考えてきた。そのためには、まず、教職員の防災に関しての意識の高揚が重要だと考える。これまでの危機管理マニュアルを見直し、実際に大地震が発生したときに迅速かつ適切に対応できるかという視点から積極的に研修に取り組んできた。そこで見えてきたことは、防災教育を支えるのは、日常の生活指導である。それだけに、発達段階を考えた、系統立てた指導が重要だと考え、このことをふまえて防災学習年間計画を見直している。

しかし、児童の防災意識を高め、実践化、態度化を図るためにはまだまだ多くの課題がある。今年度の取り組みをスタートラインとし、より充実した防災教育が展開できるよう学校、保護者、地域と連携を図っていきたい。

## 防災系統年間計画

	ねらい	1・2年	3・4年	5・6年	教職員
4月	身の回りの危険箇所や防災設備に関心を持ち、防災への心構えや態度を養う。	身のまわりの整理整頓	身のまわりの整理整頓	校内の危険箇所を調べよう	危機管理マニュアルの作成 教職員の共通理解
5月		通学路、家の回りの登下校中危険なところ	学校周辺 地域の危険なところ	自分の家の危険箇所を調べよう	児童・教職員に対する事業内容の周知
6月	災害時に、安全で行動できる防が能力を育成出来る。	もしも地震が起ったら (避難訓練時の注意)	もしも地震が起ったら (避難訓練時の注意)	もしも地震が起ったら (避難訓練時の注意)	避難訓練の実施 (火災)
7月	災害の種類やその特徴を知り、災害に対する危機意識を高める。	台風や自然災害について	自然災害の被害について	今までの大地震について 火を囲む集い	
8月		非常食の試食	非常食の試食	非常食の試食 防災センター見学	教職員の防災センター見学及び研修
9月	災害から自らの生命を守るために必要な知識や行動の仕方を身につける。	防災の日の話 (絵本)	防災の日の話	防災の日の話 (大震災の被害)	運動会での「防災〇×クイズ」
10月	自然災害が発生するメカニズムを、地球科学を通して理解し、災害への関心を持つ			学習したことを伝えよう	避難訓練の実施 (警戒宣言発令時における保護者引き取り訓練)
11月	災害を未然に防止したり、災害時のひかえいを最小限に食い止めるための様々な取り組みを理解する。	公共施設を知ろう	消防署の役割を知ろう	市役所の防災課の仕事を知ろう 双六作り	
12月		地震の恐ろしさについて (DVD)	地震の恐ろしさについて (DVD)	地震の恐ろしさについて (DVD)	
1月	よりよい地域社会のために、自分の役割を自覚し、実践していこうとする態度を養う。	避難訓練	避難訓練	避難訓練	避難訓練の実施
2月	自他の生命を尊重するとともに、他の人々の思いや考えを理解し、共に生きようとする態度を養う。	登下校中に地震が起ったら	いろいろな場所で地震が起ったら	どんなことができるだろう (ボランティア活動)	危機管理マニュアルの見直し及び精査会 双六の印刷配布
3月					事業報告書の作成

防災教育年間計画

1・2年	ねらい	学級活動	関連教材
4月	○身の回りの危険箇所を知り、防災への関心を高める。	身のまわりの整理整頓 ・散らかったところは危険を伴うことを知る。	
5月		通学路、家の回りの登下校中危ないところ ・生活科の探検で気づいた、危険なところを知る。	<b>生活科（1年）</b> 安全な登下校 ・通学路の様子等についてしらべ、安全な登下校ができるようにする。 <b>生活科（2年）</b> 町をたんけんしよう ・町探検により、学校周辺や自分たちの家の周りの危険なところを知る。
6月	○災害時に、安全に行動できるようにする。	<b>避難訓練の実施</b> ・あわてず安全に避難することができるようにする。 もしも地震が起こったら ・災害時の心構えや避難時に気をつけることを考える。	
7月	○災害の種類を知り、災害に対する危機意識を持つ。	台風や自然災害について ・いろいろな災害があることを知る。	
8月		非常食の試食	
9月	○災害から自らの生命を守るための方法を知る。	防災の日の話 ・防災の日が制定された理由について知る。	<b>運動会</b> での「防災〇×クイズ」 ・防災クイズにより、生命を守るための知識を身につける。
10月		<b>警戒宣言発令時における保護者引き取り訓練</b> ・スムーズな引き渡しができるようにする。	
11月	○災害を防ぐための、様々な取り組みを知る。	公共施設を知ろう ・災害時の避難場所を知る。	<b>2年（生活科）</b> 地域と生活、公共物や公共施設の利用 ・身近な地域（公共物や公共施設等）やそこで働く人々と関わる中で、安全に利用したり生活したりすることができるようにする。
12月		地震の恐ろしさ	

		・地震の起こった様子をビデオで見て、地震の怖さを知る。	
1月	○自他の生命を尊重し、共に生きようとする態度を養う。	<b>避難訓練</b>	
2月		登下校中に地震が起こったら ・登下校中の災害時のことを考える。	
3月			

3・4年	ねらい	学級活動	関連教材
4月	○身の回りの危険箇所や防災設備に関心を持ち、防災への心構えを養う。	身のまわりの整理整頓 ・避難の妨げにならないよう、日ごろから整とんに心がける。	<b>3年（社会科）</b> わたしの町みんなの町 ・公民館や公園が避難場所として使われることを知る。（～7月）
5月		学校周辺、地域の危ないところ ・学校周辺の危険なところを知る。	
6月	○災害時に、安全に行動できる防災能力を育成する。	もしも地震が起こったら （避難訓練時の注意） <b>避難訓練の実施</b> ・あわてず安全に避難することができるようにする。	
7月	○災害の種類やその特徴を知り、災害に対する危機意識を高める。	自然災害の被害について	
8月		非常食の試食	
9月	○災害から自らの生命を守るために必要な知識や行動の仕方を身につける。	防災の日の話 ・防災の日が制定された理由について知る。	運動会での「防災〇×クイズ」 ・防災クイズにより、生命を守るための知識を身につける。 <b>4年（理科）</b> 流れる水のはたらき ・流れる水のはたらきをしらべ、洪水の危険性について理解できるようにする。
10月	○自然災害が発生するメカニズムを知り、災害への関心を持つ。	<b>警戒宣言発令時における保護者引き取り訓練</b> ・スムーズな引き渡しができるようにする。	
11月	○災害を防いだり、被害を最小限に食い止めたりするための様々な取り組みを	消防署の役割を知ろう ・災害時の消防署や分団署の方々の仕事を知る。	<b>3年（社会科）</b> 人々の仕事とわたしたちの暮らし ・様々な人たちが安全のために取り組んでい

	知る。		ることを知る。
12月		地震の恐ろしさについて ・DVDにより命を守るためにどのような行動をとればよいのか知る。	
1月	○よりよい地域社会のために、自分の役割を自覚し、実践していこうとする態度を養う。	<b>避難訓練</b>	<b>3年（社会科）</b> 安全なくらし ・消防署、警察署などの役割について理解できるようにする。
2月	○自他の生命を尊重するとともに、共に生きようとする態度を養う。	いろいろな場面で地震が起こったら ・状況に応じた避難の仕方を考える。	
3月			

5・6年	ねらい	学級活動	関連教材
4月	○身の回りの危険箇所や防災設備に関心を持ち、防災への心構えや態度を養う。	校内の危険場所を調べよう ・校内の危険箇所を調べることで防災の心構えをもつ。	
5月		自分の家の危険箇所を調べよう ・防災意識を高める。	<b>体育科</b> けがの防止 ・生活安全、交通安全に加えるなどの工夫をする。
6月	○災害時に、安全に行動できる防災能力の育成をはかる。	<b>避難訓練の実施</b> ・あわてず安全に避難することができるようにする。 もしも地震が起こったら ・避難訓練時に全体のことを考えて行動できるようにする。	
7月	○災害の種類やその特徴を知り、災害に対する危機意識を高める。	今までの大地震について ・過去の大地震の被害について知り、危機意識を高める。	火を囲む集い（6年） ・野外炊事、火おこしなど避難時の生活を体験する。
8月		非常食の試食 防災センター見学（5年生）	
9月	○災害から自らの生命を守るために必要な知識や行動の仕方を身につける。	防災の日の話 ・防災の日が制定された理由について知る。	<b>運動会</b> での「防災〇×クイズ」 ・防災クイズにより、生命を守るための知識を身につける。 <b>5年（理科）</b> （天気の変化） ・天気の移り変わりや

			台風等による雨や風の被害について知る。
10月	○自然災害が発生するメカニズムを、地球科学を通して理解し、災害への関心を持つ。	<b>警戒宣言発令時における保護者引き取り訓練</b> ・スムーズな引き渡しができるようにする。	<b>6年（理科）</b> （大地のつくり） ・流れる水のはたらきや火山の噴火等によって、地層ができることを知る。
11月	○災害を未然に防止したり、災害時のひがいを最小限に食い止めるための様々な取り組みを理解する。	市役所防災課の仕事を知ろう ・鳴門市の災害の対策について知る。 学習したことを伝えよう ・撫養町の危険箇所や避難場所などをクイズ形式にして、安全双六を作る。	<b>家庭科</b> （食物） ・米飯や野菜などの簡単な調理実習、野外での炊事も工夫して取り入れるようにする。
12月		地震の恐ろしさについて ・DVDにより命を守るためにどのような行動をとればよいのか知る。	<b>6年（社会科）</b> （わたしたちの暮らしと政治のはたらき） ・自然災害に対する国や市町村の政治のはたらきを理解できるようにする。
1月	○よりよい地域社会のために、自分の役割を自覚し、実践していこうとする態度を養う。	<b>避難訓練</b>	
2月	○自他の生命を尊重するとともに、他の人々の思いや考えを理解し、共に生きようとする態度を養う。	どんなことができるだろう ・災害時に自分たちができるボランティア活動について考え、実践しようという意欲を高める。	<b>5年（社会科）</b> （見なおそうわたしたちの国土） ・自然のしくみを守り大切にすることは、自分たちの暮らしを守ることにつながることを知る。
3月			